

猫の主な死亡原因の一つである
恐ろしい伝染病で、
すべての子猫に
検査が推奨されています。



FeLV

猫白血病ウイルス感染症検査をご紹介します。

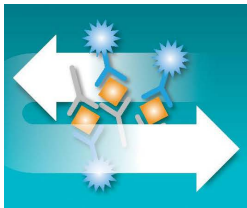
ELISA法によるFeLV / FIV同時検査

猫白血病ウイルス抗原 / 猫免疫不全ウイルス抗体同時検査

どんな検査ですか？

- 猫の健康的な生活を支援する国際的なリーダーとして著名なカナダの団体「Cat Healthy」の「猫の予防医療プロトコル」では、抗原抗体反応のゴールドスタンダードとされるELISA法による猫白血病ウイルス抗原検査が推奨されています。
- ELISA法とは、専門の検査会社で用いられている検査方法で、検体の洗浄によりフリーの抗体等を洗い流すことで精度を高めます。
- 日本では7,000以上の動物病院でELISA法によるFeLV/FIV院内同時検査が実施されています。

2016年末現在 アイデックス調べ

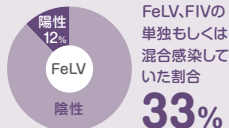


猫白血病ウイルス(FeLV)感染症は、どんな病気？

FeLVは感染力が強く、発症すると深刻な症状を示す怖い病気です。ウイルスは血液、唾液、涙そして糞尿などに含まれ、感染経路が多く、うつりやすい伝染病です。猫同士が同じ食器で食事をしたり、舐め合うグルーミングやじゃれあいなど、FeLV陽性猫との同居あるいは外でのケンカで感染します。FeLVは人間にはうつらず猫属にしか感染しません。

猫白血病ウイルス(FeLV)感染症は、
約10頭に1頭の割合で陽性が
確認されています。

グラフ：2009年日本獣医内科学アカデミー猫感染症研究会「FeLV/FIVを極める ―
2008年47都道府県での調査をもとに」被検猫総数：1,770頭(対象は外出猫)



治療法は？

現時点ではFIV感染症に特別な治療法はなく、
感染した場合には、発症を遅らせるための管理や、
症状に応じた治療を行っていくことになります。



こんな時には検査を受けましょう。

- FeLVワクチンを接種するとき
- 猫を飼い始めるとき
- 既に猫を飼っていて、新しく猫を迎えるとき
- 口内炎などの病気がなかなか治らないとき
- 家の外に脱走してしまったとき
- 外出する猫と接触したりケンカしたとき

FeLVは感染力が強く、発症すると深刻な症状を示す怖い病気です。
外飼い猫や多頭飼育等、感染リスクのある生活環境と思われる
場合は、必ず動物病院に相談しましょう。